

令和7年度尾張旭市後期高齢者医療特別会計予算

討論要旨 榊原利宏議員

こちらにも保険料負担が大変重いことが問題であります。既に令和6年度に保険料は引き上げられており、7年度に料率改正はありませんが、保険料引上げが滞納を増やしている一因となっております。

滞納繰越保険料の収納状況を見ますと、令和元年度が66万6,800円でしたが、令和7年度予算では264万9,000円になっております。被保険者数の増加とともに、保険料引上げも原因の一つとなっております。

保険料の滞納は、普通徴収で発生をいたします。普通徴収とは、年金が年間18万円未満で、後期高齢者医療保険料と介護保険料を合わせて年金受給額の半分以上になる人が普通徴収になります。

質疑では、普通徴収になる人の割合が、令和5年度25.67%から、令和6年度27.78%に2.1ポイント増加をしており、7年度も同様ということであります。保険料が引き上げられれば、年金受給額の半分以上が保険料となり、年金天引から普通徴収になり、滞納する可能性が高まるということになります。

こうした高い保険料を押しつけている以上、予算には反対であると申し上げておきます。